



ふうの木のある学校からⅡ

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 2月 文責 校長

昼休み 地震が来たら？

1月15日(木)、昼休みに特化した訓練を実施しました。

事前に「昼休み運動場で遊んでいる時」等を想定した指導を行っていましたが、訓練放送が流れると、運動場の中央に集まったり、校舎内では姿勢を低くして身を守ろうとしたりする姿がみられました。

津波警報が出た場合は、そのまま屋上へ避難することになりますが、今回はそこまでやってみることも考えています。

阪神淡路大震災では、早朝5時30分頃。
東日本大震災では、午後2時46分頃。
果たして、南海トラフは・・・？

走り方・跳び方

障害走(ハードル走)。
走りながら、障害を跳び越し、速さを競う運動。

3年生以上の「陸上運動」で、外部講師の先生から指導をしていただいています。

足の上げ方、柔軟性、踏み切り足、抜き足。そして、腕の振り方。さらには、足の動きと腕の動きの協働、リズム等々、ただ単に走るだけでは身に付けることが難しいテクニックです。

学年や習得状況に合わせて、段ボール箱やミニハードル等を活用して学ぶことができますようにしています。

まだまだ寒い日が続きますが、どの子にも運動する楽しみを味わってほしいものです。

フッ化物洗口 始まる

1月13日(火)。

むし歯や歯周病を予防したり、口内環境を整えたりするのに有効とされる「フッ化物洗口」が本校でも始まりました。

私も、3カ月に1回の歯科医点検をしています。が、ブラッシングだけでは限界があることを、毎回思い知らされているところです。

希望者のみの実施ではありましたが、苦味やにおいに敏感な子もいる一方で、保育園等で経験している子たちは、口内を上手に洗い、始末までスムーズに行うことができました。

学校の検診後、歯科への受診を勧めています。が、治療率は上がっていない状況です。この取組がよいきっかけになるといいのですが・・・。

包括的性教育

1月17日(土)。

高鍋町小中合同学校保健会・PTA研修会が行われました。

お休みの日の午前中にもかかわらず、たくさんの方々に参加していただきました。

「思春期の脳は不安定で、イライラしやすく、ネガティブな考え方をしやすい」というのが基本的な考え方です。

だからこそ「性に関して正しい情報をきちんと伝えること」が大事で、それが「子ども達の未来や他者の人権を守ること」等につながるというお話でした。

具体例を示しながらのお話だったので、家庭や周囲の方々にも広がりやすいのではないかと期待をしているところです。

給食に感謝！

1月21日。給食感謝集会を行いました。

まず、給食委員会の子ども達が、給食の始まりや、西小の給食がどのように作られているかを紹介したり、給食の人気メニューや新しくメニューに加えてほしいものを発表したりしました。

次に、調理員さんや栄養教諭、学校栄養職員の方々に感謝の手紙を送り、ひと言ずつあいさつをいただきました。

私の給食のイメージ（あくまでも私見です）は、配膳されるだけで有難く残さず食べた昭和、栄養のバランスや彩り等がより必要になった平成、厳しい安全基準や食の個別化（アレルギー等）へ対応している令和、といった感じです。皆さんはいかがでしょう？

給食はもとより、食事が私たちの口に入るまでには、動植物の命、食材等を育成・管理・運搬している方々、栄養管理・献立作成されている方、実際に調理している方々などの存在があります。

スーパーや生鮮食料品店、コンビニエンスストア等の発展に伴い、魚が切り身のまま泳いでいるとか、牛や豚がハンバーグのまま歩いていると考える子どもがいるとか、いないとか・・・。

そんな時代の要請なのか、近年、食を通じて学ぶこと（食育）の大切さも注目されています。

例えば、「弁当の日」。

献立を考え、食材を選び、調理し、弁当箱に入れるという一連の体験をとおして、食への感謝を考え、自立をうながす取組です。

5年後、10年後、子ども達は、いわゆる「自炊（じすい）」ができる大人になっているでしょうか？ それとも、コンビニ等の弁当や惣菜でおなかを満たすのでしょうか？

以前「はなちゃんのみそ汁」という本に出会ったとき、そんなことを思った次第です。

石井十次顕彰のつどい

1月24日（土）。たかしんホール。

本校の6年生に、石井十次先生の生い立ちや功績を調べ、その思いを想像し、今の高鍋町や日本・世界の現状から課題を見つけ、課題解決の方策を発表する機会が与えられました。

宮崎県知事や高鍋町長も臨席されていましたが、子ども達はほどよい緊張感を覚えつつ、これまでの学びを発表していました。

子ども達の発想ではありますが、あいさつやごみ拾い運動等については、今からでも実行できそうな取組でした。

また、子ども食堂支援や障がい者や高齢者との交流の場の設定等についても、町の方で検討いただけるのではないかな？とも感じました。

石井十次先生が目指した世界観は、「SDGs」の考え方と類似しているように思います。

今回の子ども達の想いや考えが、SDGs未来都市宣言をした高鍋町で活かされると、学びがより深まるんですけどね～。

節分・立春、学びの確認！

青森県や新潟県の大雪の状況を見聞きすると、まだまだ、春は遠くに感じてしまいます。

暦のうえでは、節分（2月3日）、立春（2月4日）を迎えました。

豆まきましたか？ 恵方巻食べましたか？

現在の学年・学級で学ぶ日数も、およそ30日となりました。

この時期は、現在の学年での学びがどこまで定着しているか？を確認する大切な時期です。

特に、ご家庭では、ドリルや宿題プリント等の副教材が活用されているか等の点検をしていただくとありがたいです。